

校訓	平成25年度学校教育目標
自学 福祉 剛健	自ら学び、やさしさを持ち、たくましく生きる美保南っ子の育成

項目	めざす姿	重点実践目標	評価指標	最終評価		
				経過達成状況	評価	
自ひ学び	互いにかかわり、話し合いながら学ぶ子どもを育てる	・練り合う話し合いができる(算数)	・児童アンケートで、練り合う話し合いができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、練り合う話し合いができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、練り合う話し合いが78%(中間79%) ・教職員自己評価で、練り合う話し合いがB+(中間B-) 算数の学習の流れは定着してきており、人前で話すことに抵抗が少なくなってきた。	B+	○自分の考えと友達の見解を比べながらよりよい話し合いまで高めていくためには、人の話を最後までしっかり聞いて、自分の思いを話す力を育てていきたい。 ○根拠を持って自分の考えを話したり書いたりする力を育てたい。
		・折り合う話し合いができる(特別活動)	・児童アンケートで、折り合う話し合いができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、折り合う話し合いができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、折り合う話し合いが77%(中間88%) ・教職員自己評価で、折り合う話し合いがA(中間B) 児童アンケートの肯定的評価の数値が減ってきているが、話し合いの質の高まってきていることによると考えられる。	A	
やさしさを持つ	あいさつ、返事で、進んでかかわりをもつ子どもを育てる	・学校で、朝のあいさつができる	・児童アンケートで、学校で朝のあいさつができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、学校で朝のあいさつができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、学校で朝のあいさつが85%(中間84%) ・教職員自己評価で、学校で朝のあいさつがB(中間B) 児童玄関前であいさつができるようになってきている。声の大きさや自分から進んであいさつをすることについては個人差がある。	B	○あいさつができていない子とできていない子の個人差を解消する取組を考える。 ○自分からあいさつ、友だち・地域の人へのあいさつができる本物を目指す。 ○名前を呼ばれたり、話しかけられたら返事をしたり受け答えができるようにする。
		・地域の方へのあいさつができる	・児童アンケートで、地域の方へのあいさつができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、地域の方へのあいさつができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、地域の方へのあいさつが85%(中間83%) ・教職員自己評価で、地域の方へのあいさつがC(中間C) 児童アンケートではできているようにとらえているが、教職員は十分でないのとらえている。いつでも、どこでもできるようにしたい。	C	
		・来校者へのあいさつができる	・児童アンケートで、来校者へのあいさつができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、来校者へのあいさつができるが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、来校者へのあいさつが73%(中間67%) ・教職員自己評価で、来校者へのあいさつがC(中間C) 来校者へのあいさつで会釈をする子が見られるようになってきた。	C	
たくましく生きる	互いにかかわりながら元気に遊び、運動する子どもを育てる	・剛健タイムでしっかりかかわりながら遊ぶ	・児童アンケートで、しっかりかかわりながら遊ぶが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、しっかりかかわりながら遊ぶが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、しっかりかかわりながら遊ぶが89%(中間92%) ・教職員自己評価で、しっかりかかわりながら遊ぶがA(中間A) 自分たちで企画運営しながら関わりながら取り組んでいた。トラブルがあっても、そのことについて話し合い解決する力が育ってきている。	A	○仲間づくりを中心に活動してきたが、たくましい心や健康な体づくりも考えていきたい。 ・ねばり強さ ・正しいことを正しいと言える
本物にする	できるようになったことを継続する	・はきものをそろえる	・児童アンケートで、くつ、スリッパそろえが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、くつ、スリッパそろえが学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、くつ、スリッパそろえが92%(中間90%) ・教職員自己評価で、くつ、スリッパそろえがA(中間B+) 学校内では履き物揃えは意識が高まってきている。しかし、保護者アンケートでは4.4%となっており、いつでもどこでもできる実践力にはなっていない。	A	○はきもの揃えは、いつでもどこでもできる本物となるよう意識を高めていきたい。 ・トイレのスリッパ ・特別教室の入り口の靴 ・家庭での取組 ○学習の準備は整いつつあり、落ち着いて学習できるようになってきている。継続を大切にしたい。 ・調息 ・静かに教室移動することも大切にしたい。 ○だまって掃除は継続していきたい。
		・5か条を守る	・児童アンケートで、五か条の各項目が学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、五か条の各項目が学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、五か条の各項目が85%(中間87%) ・教職員自己評価で、五か条の各項目がB+(中間B) 学習の準備はできつつある。心の準備をして早めに席につくことについてはまだ十分ではないので、調息の取組を進めていきたい。	B+	
		・だまって掃除をする	・児童アンケートで、だまって掃除が学年に応じた姿でできた肯定的回答をした児童が80%以上 ・教職員自己評価で、だまって掃除が学年に応じた姿でできた肯定的回答をした職員が80%以上	・児童アンケートで、だまって掃除が86%(中間76%) ・教職員自己評価で、だまって掃除がA(中間B-) 中間評価より静かに掃除に取り組む児童が増えてきた。すみまできれいという意識については十分ではない。	A	
開かれた学校	学校の教育活動を積極的に発信する	・HPによる情報発信を増やす	・保護者アンケートで、学校のHPによる情報発信に対する肯定的評価 80%以上 ・基本的に毎日記事を更新する	・保護者アンケートで、HPによる情報発信が92%(中間91%) ・記事更新は、ほぼ毎日できた。 ・今年度より「ブラジルからこんにちは」のコーナーを設けた。日常の学校生活の様子の更新に務めているが、内容の充実を図ってきたい。	A	学年のバランスを考えながら、子ども達が生き生きと学習や生活している状況を伝えていくようにする。

※評価基準 S十分達成(95%以上) A概ね達成(94~80%) B変化のきざし(79~60%) Cまだ不十分(59~31%) D目標、方策の見直し(30%以下)